

塗装が早期に劣化する理由—第2部

一つの火花も許されない現場—だから錆は塗膜の下に残り続ける

ブラストなし。グライNDERなし。火気作業なし。鋼材にはワイヤーブラシをかけるだけ—それでも錆には未来がある。

ワイヤーブラシは浮いた錆しか除去できない。残った錆は成長し続ける。塗装は**わずカー、ニシーズン**で剥がれる—しかもそこは再塗装の許可が最も下りにくい場所だ。

それが起こる場所

製油所&石油化学ユニット—炭化水素の近くでのグライNDER火花など考えられない。だから配管ラックは何十年も錆の上から塗装され続ける。

ガスプラント、LNG、都市ガスステーション—可燃性エリア。ブラスト処理も火花の出る工具も、一切禁止だ。

溶剤、塗料、化学品の貯蔵施設—蒸気の充滿するエリアでは火気作業許可はまず下りない。

粉じんエリア—穀物、小麦粉、飼料、石炭、砂糖、バイオマス。粉じん中の火花は爆発を意味する。下地処理は禁止だ。

稼働中のあらゆるプラント—許可を取ったとしても、火気監視員、待機要員、作業停止が要る。下地処理を省く方が楽だ。だから省かれる。



稼働中ユニットの錆びた鋼材—ブラスト処理は不可能



爆発性粉じん—火花は一切許されない



火花一つが招くもの：許可申請、火気監視、リスク

塗装が失敗する理由

塗装の質は、その下の鋼材次第だ。手作業洗浄では、あらゆるピットに錆が残る。錆は成長し、塗膜を持ち上げる—そして—シーズンでそのエリアはまた許可申請、また火気監視、またリスクを必要とする。

火花が禁止された現場への答え

Z 704 RUSTEX – NMBは常温でハケ塗りするだけ。火も、火花も、研掃材も不要。手作業洗浄で残った錆を変換する—あらゆるピットの底まで—そして上塗りを何年も密着させる。詳細はこのページ横のZ 704フライヤーを参照。

稼働中のエリアで証明します

貴社の火気作業禁止エリア内にある錆びた鋼材をお選びください。目の前で常温処理いたします。無料です。

sales@stanvac.com ・ +91-8527199811